

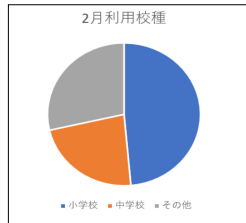
INFO@g.shunan.ed.jp

周南市教育研究センターHP

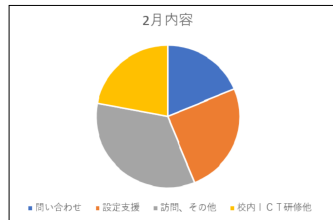


2月活動状況

＜校種別＞ 70件
 小学校34、中学校16、
 その他20



＜内容別＞ 91件
 ○電話等による問い合わせ等 17
 ○設定支援 23
 ○訪問、その他 31
 ○校内ICT研修他 20



知っておきたいICT

＜生成AI・学習アシスタントアプリ＞

「生成AI・学習アシスタントアプリを活用することにより、個に応じた学習支援を充実させることで、家庭における「学び」と学

小学校6年生、中学校3年生の使用端末を中心に点検整理が進む中、先月に引き続き、キーボードエラーや充電コード不良報告が続きます。また、バージョンアップしたとたんリングループとなり、復旧できなくなった例もあります。本体のメモリがバージョンアップに必要な容量ぎりぎりという場合もあるようです。

再三のお知らせですが、実行する前に状況連絡をお願いします。

授業記録ツール

先生Tと児童生徒Sの授業時間内の支援・活動時間を30秒ごとに場面記録していくS-TグラフをINFO55号(2023/7/20)で紹介しています。



校における「学び」の好循環を創出し、子どもの「主体的に学習に取り組む態度」「思考力・判断力・表現力」の育成を図ります。」(令和7年度 山口県教育委員会当初予算(案) 事業費 46,532千円)から 県議会審議の上決定され

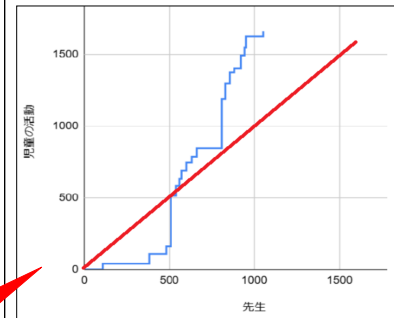
このS-TグラフをiPadによっても、「T」または「S」を入力して、授業場面は、授業研究に参加された複数の先生による記録を可能とするスプレッドシート、「授業記録ツール」を作成しました。

2月25日(火)、岐山小学校の1授業の協力を得て、このツール改良のための検証実験を行いました。ご協力ありがとうございました。

この「授業記録ツール」

場面開始 sを入力	開始時刻	時差 (秒)	t(のべ秒)	s(のべ秒)	解説T	演示T	板書T	発問 指名T	評価T	思考S	表現S	発表S	活動 実験S
t	10:30:00		0					1	1				
s	10:31:50	107	107	0								1	
t	10:32:31	40	107	40				1	1				
s	10:37:06	275	382	40								1	
t	10:38:15	69	382	110	1			1					
s	10:39:53	98	481	110							1		1
t	10:40:46	53	481	163	1								
s	10:41:15	28	509	163								1	
t	10:47:05	351	509	513				1					
s	10:47:37	32	541	513								1	
t	10:48:48	71	541	584				1					
s	10:49:08	20	561	584								1	
t	10:49:57	49	561	633	1		1						
s	10:50:09	12	573	633								1	
t	10:51:05	55	573	689	1		1						
s	10:51:33	28	601	689								1	
t	10:52:28	55	601	744	1		1						

により、S-Tグラフができ、そのグラフが、下図のように、例えば赤線グラフの左上寄りにあれば「児童生徒の活動」型、右下寄



りにあれば「先生支援」型の授業であったということが視覚化できます。

しかし、ずっと「プリント学習だった」となれば「児童生徒の活

動」型になりますから、一概にどちらが良いとは言えません。

さらにこのツールは、先生の場面を解説、演示、板書、発問、評価、その他に分け、児童生徒の場面も、思考、

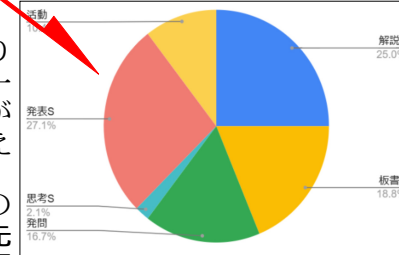
表現、発表、活動、その他として、「気づき」も自由記述枠としてつけています。

今回の検証実験後、全てをチェックボックス化したツールに変更したものを提供できるようになりました。

授業後、全員で共有作成した、この授業記録をもとに指導する側の「個別化」、学習する側の「個性化」の違いについてご協議されるような時にお試ください。

＜使い方＞

- 1 GoogleClassroomで、このスプレッドシートを共有します。
- 2 「T」または「S」、さらに場面選択をタップする先生を決めます。
- 3 自由記述は、参加されている先生が活動の様子を入力してもよいでしょう。



周南市教育委員会
 周南市教育研究センター
 教育情報化推進室